

満開の桜と桃の甲州高尾山

山行日 2019年4月7日(日)

コース 新松戸 5:50=勝沼ぶどう郷 9:20=タクシー=大滝不動尊 9:50 発—富士見台分岐 10:45—11:40
甲州高尾山 12:00—柏尾山 12:55—13:40 大善寺 14:15=タクシー=釈迦堂桃園=14:55 ぶどうの丘
天空の湯 16:40=タクシー=16:45 勝沼ぶどう郷駅 17:09=新松戸 19:17

勝沼ぶどう郷駅に降り立つと満開の桜並木がお出迎え。太い幹に支えられ堂々と空をピンク色に埋めつくすような桜並木に圧倒された。3台のタクシーに12人が分乗し大滝不動尊に向かう。いよいよここからスタート。いきなりの急登を登りきり樹林帯を進んでいくと尾根に突き上げる。富士見台分岐だが、残念ながら春霞がかかったような空模様で、遠くの富士山や南アルプスの山々は見えない。それでも近くの山波が見渡せて、展望の良い尾根道がしばらく続いた。登山道の脇の斜面ではダダ、ダダッと大きな機械音を響かせて、作業員の人たちが木や下草を刈っている。この辺りは十数年前の山火事の跡地で、未だに黒く焼けただけれた幹が結構残っていた。



分岐から1時間弱で甲州高尾山に到着。樹間から下界を見下ろすと薄ピンクのベルトのようなものがそこここに見える。甲府盆地に広がる桃園の桃の色なのだ。ぜひまじかで見たいと思った。山頂からも小さなアップダウンを繰り返し、剣ヶ峰や鉄塔のある柏尾山に着く。途中で倒木が道をふさぎ、太い木が根っこを見せて無残に倒れているところを多く見かけた。昨年の秋の風台風で被害を受けたとのことだ。柏尾山での休憩後、リーダーから「急だから気をつけて!」と声がかかる。かなり急な下山路を緊張して慎重におりていくと、ようやく下山口の大善寺に着いた。パアッと目の前が開け、又々たくさんのお出迎え。「すごい!」「きれ〜い!」と歓声上がる。この大善寺は奈良時代の初めに行基によって開かれた由緒あるお寺とのこと。スイセンやミツバツツジの咲く境内を散策した。

まだ時間に余裕があるというので、タクシーでドライバーさんお勧めの釈迦堂の桃園に寄り道する。



濃い紅色の実桃の花だけでなく鮮やかなピンクや濃淡混ざった可愛い花桃にみんな夢中でカメラのシャッターを切っていた。ほんの短時間だったが桃のお花見を堪能できた。

仕上げは温泉とビールだ。天空の湯の広々とした露天風呂からも桃園が見えた。湯上りのビールのお味は? ご想像にお任せしましょう。

山ばかりか、桜と桃のお花見に、温泉と、三拍子揃った満足感いっぱいの山行だった。欲張りなリクエストにも快く応えてくださったリーダーの西村さん、サブの川名さんに感謝、感謝です。